

今年も「平和フェスタ」へ どうぞ

～いま世界でおきていること いのちに国境はない～

2008 8月24日(日) 午後1時半～

エコルマホール(小田急線 狛江駅前)

市民の平和への願いが結実し、

狛江市と共催で開かれるようになって4年目となる「平和フェスタ」。イラクの人々の支援に活躍されている高遠菜穂子さんをお迎えして、今年も下記のような多彩な内容で開催されます。

- * お話 高遠 菜穂子さん
「命に国境はない
～イラクで非暴力は実現するか?～」
- * フォークダンス
フォークダンス クローバーの会
- * 弦楽合奏 狛江高校弦楽合奏部
- * 郷土芸能 きんたの会&跳鼓舞
- * 狛江平和都市宣言朗読
狛江高校演劇部
- * 合唱 こまえ平和フェスタ合唱団
(公募の市民)
調布狛江合唱団
狛江そうれっしゃ合唱団
- * ロックソーラン
平和フェスタソーラン隊(公募の市民)
- * 跳鼓舞 きんたの会



市民公募によるエイサー

<ご協力のお願い>

「平和フェスタ」を成功させるために皆様のお力添えをお願い致します。

* 当日のボランティア

会場での様々な係にお手伝いいただける方、ご連絡ください。

* 協賛金のお願い

狛江市との共催といっても市からの予算はほとんどなく、広告収入や皆様のご寄付で運営しております。少額でも結構です。皆様のお力で平和フェスタの資金を支えて頂けると幸いです。

振込先 00160-8-607928

加入者名:

平和憲法を広める狛江連絡会
(通信欄に平和フェスタ協賛金と記入)

9 条 世界 会議（幕張メッセ）に 22,000 人 憲法九条の理念を生かし世界の平和を！

5月4、5日千葉県の幕張メッセで9条世界会議が開かれました。

5月4日の全体会に狛江からは15人ほどの参加でしたが、7,000人定員のところ15,000人の人々がつめかけました。海外ゲストは130人以上。あとからあとから来る人、人、人、目的はひとつ「平和」です。

これで世界会議が盛り上がりがないわけはありません。日本実行委員会共同代表・吉岡達也さんの「世界の宝9条を護るために今我々はここに国の内外から集まっている。これは歴史的な瞬間である」との感動的な言葉で開幕しました。



アメリカ、オランダ、イラク、コスタリカ……。会議には、世界各地の人々が参加した＝6日、千葉市・幕張メッセ

基調講演

ノーベル平和賞受賞者の北アイルランドのマグワイアさんとアメリカからの国際平和ビューロー、コーラ・ワイ

スさんたちは、日本国憲法9条を絶賛しつつも、日本国内で9条を変えようとしている動きに対して団結して阻止しましょうと呼びかけています。

軍隊を放棄している憲法には拡大解釈の余地はないと断言し、私たちが世界に向かって平和を発信する9条大使になることを提唱しました。

ゲストスピーカーのお話

翻訳家の池田香代子さんが、「戦争か、話し合いか」の二択しかない。戦争をしている場合ではない」と言えば、作家の雨宮処凛さんは「お金は人を殺すために使わず、人を生かすために使うべき」とそれぞれの平和への思いを述べました。

海外からのゲストも9条を評価するがゆえに、日本が9条を守り、世界平和のためにリーダーシップを発揮することを望んでいるのは、我々の思いと同じです。

9条というものがあいながら、日本には実質的に、立派な軍隊もあれば、膨大な米軍基地もあることを、世界の平和を願う人たちが懸念していることを実感しました。

「日本の9条に救われた」

高遠菜穂子さん

現在イラク支援ボランティアの高遠菜穂子さんがトークセッションで「私

はイラクで日本の自衛隊の撤退を要求する人たちに、人質にされた時、日本の9条に救われたのだと思います。ボランティアで武力を持たず現地の人たちのために働いた私は9条を身をもって実践していたのです」と言っていました。アメリカが世界一の武力をもってしてもイラクに平和をもたらすことが出来ない現実を前に、この高遠さんの言葉は、私たちに憲法9条がもつ力への深い確信を与えてくれます。

これだけの人々が平和を願って、日本国憲法9条を旗印にこの幕張に集まったことは画期的なことです。9条は世界から期待されているのです。海外からのゲストも、日本が9条を守り、世界平和のためにリーダーシップを発揮することを望んでいます。

(鈴木真理子記)

この後、下記の3箇所でも開催し、全国で延べ3万人以上が参加するという大きな成功をおさめました。

5月5日(広島) 1,100人

5月6日(仙台) 2,500人

5月6日(大阪) 8,000人



初日、会場に入りきれなかった参加者たちは屋外でギターに合わせて歌った＝4日、千葉市の幕張メッセ(ギター演奏は拍江の大熊さん)

特別声明発表

9条世界会議は、次の3つの特別声明を発表しました。

戦争を廃絶するための9条世界宣言

「9条を人類の共有財産として支持する国際運動をつくりあげ、武力によらない平和を地球規模で呼びかける」とする宣言は、世界各国および日本政府への要求と市民社会としての行動誓約を列記しています。日本実行委員会および全海外参加者の協議により作成されました。

核不拡散条約(NPT)再検討準備委員

会に対する9条世界会議の声明

9条の出発点に立脚し「核兵器に依存しない安全保障」をうたう声明は、核保有国をはじめとする各国に核廃絶のための行動を求めています。賛同署名を得て発表されました。5月9日までジュネーブで開催されていたNPT準備委員会の議長らに提出されました。

G8に対する9条世界会議声明

世界の軍事費の70%を支出しているG8諸国に対して軍事費の大幅削減と平和・開発・環境への転換を求めた声明です。世界の国々に対し紛争や「テロ」問題への対処法を変えることを求めています。日本実行委員会により起草され、主要海外参加者の賛同署名を得て発表されました。

秋の講演会（予告）

共催：こまえ九条の会

平和憲法を広める狛江連絡会

日時：2008年10月18日（土）

午後1時半～

場所：西河原公民館

（狛江駅からバス 5分

または徒歩 12分）

内容

・講演

「海外派兵恒久法」がもたらす
危険な時代

—戦争をしない国であるために—

講師 飯島 滋明さん

（名古屋学院大学）

・短編映画 ・音楽 予定

政府与党は、自衛隊を簡単に海外に派遣できる「海外派兵恒久法」の成立をねらっています。

アフガニスタンへの洋上給油、イラクでの航空自衛隊の輸送活動が時限立法で行われている中、国会の反対で継続できなくなることを恐れていることです。恒久法で他の地域にも時限立法なしにいつでも派兵でき、その上警護活動と称して武器使用の緩和まで盛り込もうとしています。

この法律が成立してしまったら、軍事的歯止めがなくなり、海外での武力行使に前のめりになっていく日本のあり方が心配されます。

ぜひ、皆さんと危険な法律の意味するところを講師のお話を聞きながら学習したいと思います。

皆様のご参加をお待ちしております。

本の紹介

今の時代を知るために、日本国憲法のことを深く知るためにお手にとって見てください。（狛江市図書館所蔵）

「ルポ 貧困大国アメリカ」

堤 未果 著（岩波新書）

貧困に追い詰められていく人々の生の声を通して、今、アメリカで福祉、教育、戦争まであらゆるものが民営化されていく中で広がっていく言語を絶する貧富の格差の構造が明らかになる本です。そっくり後を追っている日本をそのまま放っておけば、アメリカと同じ現実と直面するだろうということを感じさせてくれる本です。

本年度エッセイスト大賞受賞！

「憲法9条の思想水脈」

山室 信一 著（朝日選書823）

今年度の司馬遼太郎賞受賞作品です。

日本の憲法9条に結実した非戦の思想が、世界の思想史の中で、また文明開化以降の日本において、どのように生まれて発展し受け継がれてきたかを、綿密に跡づけています。憲法9条の水脈を遡る試みです。憲法9条とは何かを知るために、その思想や理念が生み出された歴史を辿り直し、憲法9条が決して突然変異的なものではなかったことを明らかにしています。

憲法9条が、人類が歴史の中でたどり着いた「金字塔」であること、「世界の宝」であることが確信される本です。

